

せいきょう連ニュース

CO-OP 岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 岡山県生協連 検索

会員生協トピックス

岡山医療生協

令和6年能登半島地震 災害支援活動
～ 岡山から心を寄せて ～

1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震により、石川県、新潟県、富山県等を中心とし、甚大な人的・物的被害が発生しました。岡山医療生協では、人材派遣や募金活動で被災地支援に取り組んでいます。

～支援に行った職員の報告より～

石川勤労者医療協会輪島診療所(輪島市)へ2月5日から2月7日の3日間の支援に行かせてもらいました。道路の液状化・家屋の崩壊の状況はすさまじく、市内の様子はまるで戦後の風景のようで、自然の恐ろしさに言葉もありませんでした。

診療所内で働く職員全員が被災者ですが、そのような事実はまるで感じられないくらい優しく明るく穏やかに働かれており、受診に来られる患者さんの心のケアになっていると強く感じました。

診療所に来られない患者さんはすぐに送迎に出向く・診療の合間をぬって来院されていない患者さんを訪問する・診療時間以外でも対応する・自衛隊設置の浴場に要介護者の入浴許可の交渉に行き避難所に迎えに行き入浴介助をするなど、多岐にわたる活動をしていました。支援どころか逆に皆さんから心の支援を受けたような気持ちです。

私も岡山で日々何ができるかを考え、自身にできることを精いっぱい頑張ろうと思いました。

岡山医療生協岡山協立病院 看護師



各地から集まった支援チーム



輪島診療所職員からのお礼



組合員・職員からのメッセージを石川民医連へ

倉敷医療生協

令和6年能登半島地震 被災地の支援活動

石川県民主医療機関連合会（石川民医連）より看護師の支援要請があり、2月12日から2月16日までの5日間、倉敷医療生協水島協同病院・災害支援ナースの田邊則子さんが、金沢市の城北病院へ支援に入りました。

城北病院では、被災地域からの入院受け入れに加え、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ患者の拡大などもあり入院ベッドが満床、規定の病床を超えている状況でした。発熱外来では、半日で40人以上の患者さんが来院し、その9割以上の方が新型コロナウイルス感染症でした。

休憩時には、現地の看護師さんから日々の生活についてお話しをお伺いすることができました。毎日患者さんのために仕事をしている方々も被災者でもあり、「二重のストレス状態」となっている状況で、メンタルヘルス対策も重要となっています。



全国から駆けつけた看護師とともに支援
(田邊則子看護師・右端)

三井造船生協

令和6年能登半島地震 災害募金

令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

三井生協では、被災地域と被災された方々の一日も早い復興を願い、「令和6年能登半島地震災害募金」に取り組んでいます。

1月18日（木）三井生協家庭会は、生協本部にて募金活動を実施しました。足を止めて募金にご協力いただきました多くの皆さまに感謝申し上げます。

店頭で募金していただいた災害募金と、生協全店に設置した募金箱の災害募金は、1月23日（火）日本生活協同組合連合会を通じて被災地へお届けしました。引き続き、全店舗に募金箱を設置し、募金活動を行っていきます。



おかやまコープ

令和6年能登半島地震 緊急医療支援に対し AMDAへ支援金を拠出



AMDA理事 難波比加理様(右)へ物資をお届け

おかやまコープは国際医療ボランティア団体「AMDA（アムダ）」からの要請を受け、「令和6年能登半島地震」被災者緊急医療支援活動に対して、支援金30万円を拠出しました。

また、飲料や即席めんなど食料品のほか、肌着などの衣類合わせて727点(23万円分)を提供しました。

支援金及び支援物資の費用については、協定に基づき「AMDA基金」から拠出しています。

おかやまコープ

「リビア洪水」、「ガザ人道危機」に 緊急募金を拠出

おかやまコープは、11月20日～1月31日に「ユニセフ募金」に取り組み、募金の一部を「緊急募金」として、「リビア洪水」(9月)に100万円、「ガザ人道危機」(10月)に300万円を拠出しました。募金は宅配、店舗、ユニセフハンド・イン・ハンドなど組合員の皆さまから「ユニセフ募金」に寄せられたものです。



ユニセフハンド・イン・ハンド
店頭募金活動(コープ東川原)



テレビCMには
おかやまコープ職員も出演

RSK山陽放送でおかやまコープ のCMと番組がスタート!!

おかやまコープが再建50周年を迎えるにあたり、活動や事業の取り組みなど、RSK山陽放送のテレビCMや番組を通じて広くお知らせします。夕方ワイド番組「いまドキッ!」は毎月第1・2・3週木曜日(16時50分～17時50分)、約7分の特別コーナーを設け、ミニ番組「Bloom」は毎月第4火曜日(22時57分～23時)に放送されます。

CMはこちらから→



RSKホームページ

「Bloom」サイトはこちらから→



津山医療生協

津山市発祥のニュースポーツ「ダ・ビンゴ」を体験!

2月27日(火)、支部に属さない班の班長会を行いました。班会についての交流の後、「ダ・ビンゴ」という津山市発祥のニュースポーツを体験しました。グラウンドゴルフの要領で、ビンゴになるとその部分の点が倍になるゲームです。3月19日(火)には班・支部合同集会で「ダ・ビンゴ」の大会を開催し、約60名の参加がありました。チームを前後半に分け、それぞれ3対3の団体戦でチーム替えした上で2ゲーム行いました。非常に盛り上がり、普段はあまり接点のない班や他支部メンバーとの交流も活発にできました。



岡山県学校生協

地域の小中学校へサッカーボールを寄贈しました

岡山県学校生協では、団体保険引受会社である明治安田生命とともに、2019年度より地域の小中学校へサッカーボールを寄贈する活動を実施しております。

2023年度は、30校へ115球をお届けしました。こどもの健全育成に資する地域・社会貢献への取り組みとして、今後も継続して実施してまいります。



岡山大学生協

2024年度 新入生向け 大学生生活準備を応援！ ～ 新入生サポートセンター・大学生生活準備説明会 ～

岡山大学では2024年度に向けて、推薦入試・一般入試の合格発表があり、合わせて約2,300人の新入生を迎えることになりました。

岡山大学生協では、一人暮らしをされる新入生向けに「新入生サポートセンター」でお部屋のご紹介を行いました。11月～3月までで受験生を含み約1,000組の方がご来場され、お部屋や新生活の準備を行いました。

また、オンラインや講義室での説明会を開催し、オンラインの説明会には約900人、来場での説明会では約300組にご参加いただいています。



就実生協

早期合格者向け新入生交流会を開催 ～ 「あつまれ！就実のたまご」！～

12月16日および2月17日に「あつまれ！就実のたまご」と題して、24年4月入学予定の新入生を対象とした交流会を実施しました。お互いのことを知ったり、力を合わせて課題を解決していくゲームなど、3つの企画を通して楽しく交流することができました。新入生同士はもちろん、先輩との話の中で大学生活への不安が解消され、入学への期待を膨らますことができた時間となったようです。

参加した新入生からは、「最初は緊張していましたが、先輩方が優しく接して下さり、面白いお話を沢山してくださったので、時間いっぱい楽しむことができました！」「県外から来て、不安だったので仲良くなれた子ができたので良かったです。」などの感想がありました。

今回の日程に参加できなかった方向けに「3回目」の交流会も用意しました。引き続き、多くの新入生の期待や不安に応えられれるように邁進していきます。



グリーンコープ生協おかやま

各地区で地区組合員総会を開催

各地区で地区組合員総会を開催し、多くの組合員が参加しました。2023年度は二部構成としました。はじめに総会を開催し、1年間の活動報告、来年度の方針、総代の紹介などを行いながら意見交換をすることができました。その後の第二部では、学習会や試食などを実施し、学ぶ楽しさに、食べる美味しさが加わり、とても盛り上がりました。

今年度も変わらず、組合員一人ひとりの想いをカタチにしながら、一步一步進めて行きたいと思います。



こくみん共済 coop 岡山推進本部（岡山県労済生協）

「こくみん共済」誕生40周年記念 組合員感謝イベント ～ミュージカル ピーターパンとウェンディ～ を開催しました

日時：2024年2月11日（日・祝）
場所：倉敷市民会館（岡山県倉敷市本町17-1）
募集人数：約1,700名（応募者数：約3,000名）

こくみん共済 coop 岡山推進本部は、2月11日（日・祝）倉敷市民会館にて、「こくみん共済」誕生40周年記念組合員感謝イベントとして、組合員だけでなく、広く県民の皆さまへの感謝を込めて、ミュージカル「ピーターパンとウェンディ」を上演しました。

ミュージカル「ピーターパンとウェンディ」は、華麗な舞台美術とダイナミックな演出で描かれる、夢と冒険の世界の物語です。迫真の演技と圧倒的な音響で、観客の皆さまはピーターパンの夢と冒険の世界に引き込まれていました。ミュージカル終了後は、主演のピーターパンとウェンディに、こくみん共済 coop 公式キャラクター「ピットくん」を交えて記念撮影会を行いました。

また、今回のイベントに合わせて、VRによる災害体験コーナーや新聞紙スリッパづくり、防災グッズ・被災写真の展示など、防災体験コーナーも併設しました。ご家族でVRによる災害体験をする方が多く、展示ブースでは100円ショップで取りそろえた防災グッズに興味を持たれた方が多かったです。



VR 防災体験



キッズぼうさい迷路



記念撮影

“ささえあいを考える”をテーマに学習講演と活動報告

2月20日（火）、2023年度組合員活動交流集会がオルガホール（岡山市北区）とYoutubeにて各生協サテライト会場、個人への配信で開催され、会場参加31名とオンライン参加約60名が参加しました。テーマを「ささえあいを考える」として、「あらためて学ぶ『社会保障とは？』」と題した学習講演と2つの生協からささえあいに関する実践の報告がありました。



島根大学教授宮本恭子氏による学習講演では、最も身近なはずなのにそのしくみや全体像がよくわからない、という声にこたえて、社会保障を全般的に解説いただきました。その歴史は産業革命以降の社会構造の変化、市場経済の限界に対応するものとして生まれ、日本では戦後日本国憲法の下「生活の最低限度の保障」から成熟社会になるにつれ「幸福追求権」を根拠に「広く安定した生活を保障するもの」に変わっていき、失敗しても再挑戦できるセーフティーネットとして機能してきていることなどを学びました。経済との関係では、国家財政を超える規模感や財源の構造、少子高齢化、雇用構造など社会が変化する中で転換点にあること、社会保障による消費やサービス

提供がもたらす経済への貢献に着目すべきこと、に触られました。経済と社会保障を効果的に循環させられるような全世代型の保障と地域の支えあいなどで超高齢化社会に備え、持続可能なしくみを追求していく必要性について提起されました。

発表する八谷尋子さん▶

生協の取り組み報告では、倉敷医療生協水島協同病院で、相談を受け付けるところから、無料低額診療へつなげ、それが継続できるようにしていく工夫、より広めていくための取り組みなどが報告されました。



◀発表する吉野賢二朗さん



こくみん共済coop岡山推進本部からは、阪神・淡路大震災を契機に生協や労働団体などが中心に運動をすすめ制定された「被災者生活再建支援法」の経緯、その中で「防災・減災」の啓発を社会貢献として位置付けてきて、岡山県内でもその取り組みをひろげてきている実践の報告がありました。

参加者からは、「社会保障の構造、歴史的な変化等幅広い角度より学べる大変良い機会でした」、「社会保障を改めて学ぶ中で、これからの日本社会を考えることができました」、生協報告では「それぞれの生協が地域の支えあいに役立っていてすばらしいと思いました」などの感想が多数寄せられました。

★見逃し配信（2024年4月末まで）

https://youtube.com/live/JAHKs1j_57E?feature=share





健康づくりや生活習慣の見直しにつながりました

「ヘルスチャレンジ2023」は、生活習慣の見直しと健康づくりの習慣を身につけることを目的に、「運動」「食事」「お口」を中心とした健康づくりに30日間チャレンジし健康増進をめざす取り組みです。昨年に引き続きキッズコースを含めた5つのコースを提案しました。参加者はのべ9,894人となりました。生協組合員や地域の方をはじめ、学校への案内を積極的に行い、10代以下の参加者が多数を占めるに至りました。また、自治体への働きかけも強化、赤磐市・瀬戸内市・備前市の広報誌に掲載され、和気町では町の健康づくりの取り組み「わくわく健康ポイント」の対象にも選定されました。

2024年度もより広く参加を呼び掛けできるように工夫をしていくことで計画中です。お楽しみに！

〈参加者の声から〉

- 1日1万5千歩を目指して頑張りました。岡山県教育庁福祉課のウォーキングコンテストに申し込み、1ヶ月で532,261歩歩きました。
- 去年もこのコースを選び3ヶ月毎の歯科検診でよく磨けていますと言われるとうれしくなりずっと続けています。
- 寝る前のスマホを控えたら睡眠不足が解消できつつあります。時々実施できなくて寝不足になってしまいましたが、生活を見直すよいきっかけになりました。



特定非営利活動法人 適格消費者団体 消費者ネットおかやま

岡山県委託事業 2023年度「見守り力アップ講座」を15か所で開催、530名が受講

消費者ネットおかやまが岡山県から受託して開催している「見守り力アップ講座」は消費者被害の未然防止のため、地域の見守り力アップを目的に、住民、高齢者に関わる業務の人などを対象に幅広く被害の実態と見守りのポイントを学習する講座です。

2023年度「見守り力アップ講座」開催一覧

開催日	受講者
5/24	備前市消費生活問題研究協議会
5/31	岡山市南区西福社区民生委員児童委員協議会
7/ 5	おかやまコープ 倉敷エリア
7/ 9	(公社) 被害者サポートセンターおかやま
7/18	おかやまコープ 美作エリア
7/27	奈義町社会福祉協議会 (民生委員)
8/ 7	岡山県消費生活問題研究協議会 早島支部
9/ 9	おかやまコープ ホームヘルプサービスセンター
9/14	三門地区民生委員児童委員協議会
9/29	船穂高齢者支援センター
11/ 5	岡山県市民後見人養成講座 受講者
11/17	真備高齢者支援センター
11/25	津山市社協(岡山県市民後見人養成講座)
12/12	浅口市金光地区民生委員児童委員協議会
2/21	備前市社協 (日常生活自立支援員)



時には寸劇を交えての学習も

高齢者の増加に伴い、これまでの民生委員や社協関係者だけでなく、市民後見人を養成する講座の中に位置づけられるなど、受講者の幅も広がりました。

ネットを使った手口の巧妙化やコンビニのギフトカードでの支払いなど新しい動きに対してもスマホで実地操作したりカードの実物を見たりなど、さまざまな工夫で学びを深めました。

平和の課題、協同組合のあり方を学習

1月16日（火）オルガホール（岡山市北区）にて、県生協連・会員生協役員研修会が開催され、85名（会場52名、オンライン33名）の役職員が参加しました。岡山県県民生活部くらし安全安心課の宮原雅史課長を来賓に、田上富久氏（長崎地域力研究所代表、前長崎市長）、松本圭司氏（日本生協連渉外広報本部長）を講師にお招きし、元日の能登半島地震でお亡くなりになられた方への黙とうの後、2部構成で学習講演が行われました。



田上氏

第1部は「平和のためにわたしたちができること」と題して、田上氏が4期16年にわたって長崎市長を務めた経験を踏まえ、被爆者や私たち生協も含めた市民社会が果たす役割についての提起をされました。まず、核兵器をめぐる歴史と現状を踏まえた上で、核兵器のない世界をめざすには国内外の政府や自治体、専門家・NGO・各種団体、市民社会が核保有国や核の傘に依拠する国を包囲していくことが必要であり、被爆者が高齢化し直接のメッセージを伝えることが難しくなる中で、私たち市民社会の役割がますます重要になってくると述べられました。

これまで築いてきた市民参加の到達点を踏まえ、今後は「次世代育成」、「平和の文化を根付かせること」を進めていこうと提起されました。柔らかい口調の中に込められた力強いメッセージに多くの参加者がうなずきながら聞いていました。

第2部は「協同組合のアイデンティティ声明見直しへの日本生協連の提言」と題して、協同組合とは何か、どのようにあるべきかの世界的議論に対し、日本の協同組合として議論を重ね、「平和・非暴力」や組合員の倫理的価値として「未来への責任」を加えることなどを提起していくことになった経緯を説明されました。この提言を受け、日本協同組合連携機構（JCA）を通じ世界の協同組合に提起していくこととなります。



松本氏

2024年度「消費者月間講演会」のご案内

悪質商法は心の際に付け込む ～追及活動丸50年から見えるもの～

岡山県出身、マルチ商法、ねずみ講被害者等数々の悪徳商法に対し広範な庶民運動で追求と撲滅に勤しむこと50年、堺次夫さんにますます巧妙化する実態と、豊富な経験に基づくその対応策を熱く語っていただきます。

参加無料



講師

- 悪徳商法被害者対策委員会会長
- 消費者問題研究者
- 日本消費者政策学会理事

さかい つぐ お
堺次夫さん

日時 **6月8日(土)** 14:30～16:30 (予定)

会場 **オルガホール** (オンライン視聴併用)

参加申込は所属団体 または
右二次元バーコードまで→



主催：消費者ネットおかやま、岡山県消費者団体連絡協議会 後援：岡山県（予定）

お問い合わせ ▶ 所属団体 または 消費者ネットおかやま TEL 086-230-1316